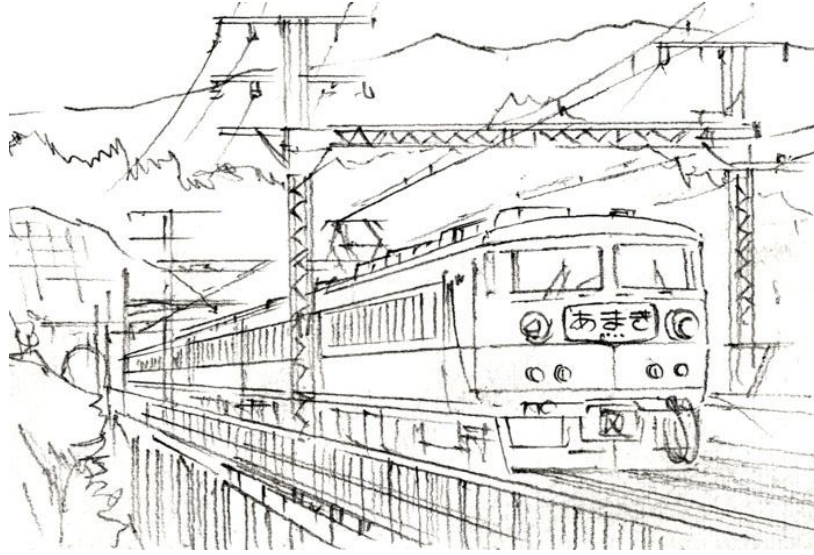


根府川橋梁(ねぶかわきょうりょう)は東海道本線の根府川駅の近くにある鉄橋です。正式には「白糸川橋梁」というのですが、鉄道好きの人には「根府川橋梁」と呼ばれることが多いようです。古くから鉄道写真の名所で、東京と伊豆方面を結ぶ「特急あまぎ号」もここを渡っていました。今は「踊り子号」に受け継がれていますが、かつては157系と呼ばれる電車が走っていました。157系は皇族用貴賓車も連結した、格式高い形式の電車です。根府川橋梁には数多くの「名車」が通過していましたが、この「特急あまぎ号」が一番似合っていたような気がします。
 ※現在157系の一般車両はすべて廃車となり、皇族用貴賓車の「クロ157-1」1輛のみが、JR東日本に車籍を残しています。



下絵です



これが完成した絵です



1、電車は「顔」(先頭車)が重要です。特にこの車両は今の電車にはない、独特の曲線を持っていて、難しいです。



3、側面も重要ですが、鉄橋の架線柱も大切な部品です。その影が車体に落とす影で「陽し」を表現できます。



2、先頭車両の床下も、できるだけ正確に描きました。これも難しいです。



4、鉄橋のすぐそばのトンネルも、この構図では大切な要素です。